

東本郷地区 社会福祉協議会

地区社協訪問

『東本郷ボランティアセンター』を運営しています。月～金曜日の 9:30～12:30 にコーディネーターが常駐し、福祉支援の相談や送迎、家事支援をしてほしい方と、ボランティアの橋渡しをしています。

また、高齢者・病弱者の病院等への送り迎えを送迎サービス『ささえ愛の会』が、ボランティアの自家用車で実施しています。さらに、社協保有のハンディキャブにより車椅子利用者の送迎も行っています。

【東本郷ボランティアセンター】

■東本郷地域ケアプラザ内相談室 ■受付：TEL 473-7670
■月～金 9:30～12:30 ■電話、もしくは来所で受付

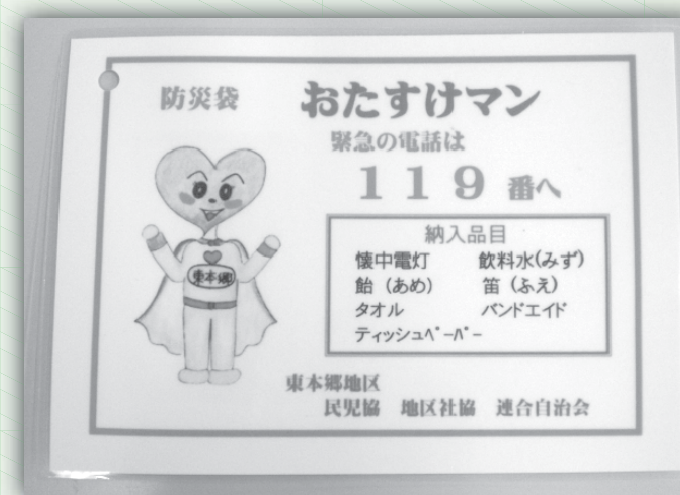
緑区社会福祉協議会では、年末たすけあい募金の一部を「地区社協要援護者支援事業配分金」として地区社会福祉協議会に配分しています。

配分金の用途については、地区連合自治会（※1）、地区社会福祉協議会（※2）、地区民生委員児童委員協議会（※3）で協議し、地域の要援護者支援にご利用いただいています。

今回おじゃました、「東本郷地区社会福祉協議会」では、上記3団体で協議し、昨年度から防災袋「おたすけマン」を必要な方に民生委員児童委員が訪問して配布しました。

今年度は、携帯用トイレを新しく配布します。また、昨年度配布した方については、水など賞味期限のある物資を交換します。

- （※1）地区連合自治会・・・自治会は地域住民相互の連帯感を育て、地域の福祉・環境・防犯・防災等、さまざまな課題に取り組んでいる自主的・民主的な任意組織です。緑区には約120の自治会がありますが、この単位自治会が地区ごとに集まって、11の地区連合自治会が組織されています。
- （※2）地区社会福祉協議会・・・地域住民に最も身近な社会福祉協議会として、地域の方々が、「自分たちの地域は自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された任意団体です。地区連合自治会エリアで地域福祉のため様々な活動をしています。
- （※3）地区民生委員児童委員協議会・・・民生委員児童委員は厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じる等社会福祉の増進に努める方々です。地区連合自治会エリアで協議会を構成しています。



「おたすけマン」を配布するとき、届ける方とお届け先の方が知り合う良いきっかけになりますね。いざという時地域に知り合いがいるのは安心ですね。



「おたすけマン」の中身です。万一の際必要な水や携帯トイレなどが入っています。



福祉施設等分科会の活動の一部をご紹介します

福祉施設等分科会では、緑区内の高齢・障がい・子ども等の福祉施設代表者が集まり、部門の枠組みを超えて、話し合いをしています。

平成22年度には、横浜市交通局に要望書を提出し、グリーンライン中山駅コンコースで、障がい者施設・作業所が自作の商品を販売することになりました。

日によって違う施設が販売に来ていますので、のぞいてみてください。



《販売日》

毎週水曜日の10:00～（販売時間等は、変更の場合があります）

《販売品》

手作りのお菓子や自主製品などです。

《販売の目的》

地域の方が利用する駅での販売・啓発活動を通して、活動をご理解いただくことです。

《販売団体》 平成24年1月末現在

あしたば工芸・織人・鴨居ピネル・陽だまり・ピネル工房・緑工房・みどりの家
（五十音順）

○その他の販売情報

・区役所1階ピロティや地域のイベントに出店していることもあります。

